



KAKE NEWS

学校法人加計学園通信 **第5号**

発行元

学校法人加計学園広報室
岡山市北区理大町1-1
TEL 086-256-8609

ひとりひとりの若人が持つ
能力を最大限に引き出し
技術者として 社会人として
社会に貢献できる人材を養成する

岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・千葉科学大学・岡山理科大学専門学校・玉野総合医療専門学校・岡山理科大学附属高等学校・岡山理科大学附属中学校・御影インターナショナルこども園

「好適環境水」テーマに発表

筑波大
附属小児童



筑波大附属小児童から送られてきた「応援メッセージ」が書かれた色紙

加計学園の生命動物教育センターが養殖研究を進めている「好適環境水」をテーマに、筑波大学附属小学校（東京都文京区）の児童が学習発表。その成果の報告と共に、「研究がんばってください」など書かれた色紙が加計学園に届きました。

筑波大附属小の3年生児童（現在は4年）がテレビで好適環境水の放映を見て、淡水魚と海水魚が同じ水槽で飼育されているのに興味を持ち、「好適環境水を、学校の学習発表会で取り上げたい」と希望。子供に頼まれた保護者が、加計学園広報室に資料送付を依頼してこられました。広報室は、好適環境水を紹介したパンフレットと共に、掲載された新聞を郵送し、役立ててもらうことにしました。

「研究がんばって」 応援の色紙届く

児童は2月に開かれたクラスの「朝の活動の時間」でこれらの資料

をもとに「好適環境水について」と題して発表。イラストや写真を見せながら、海水と淡水の違いを紹介したり、研究が期待されていることなどを発表したそうです。

後日、保護者からの丁寧な礼状と共に、クラス全員が応援メッセージを書いた色紙や、発表の様子を撮った写真が送られてきました。色紙には「これからも研究がんばってください」「応援しています」といった激励のほか、「宇宙養殖成功するといいですね」と期待も込められた文が書き留められていました。

研究に取り組んでいる岡山理科大学工学部バイオ・応用化学科の山本俊政准教授やスタッフは色紙などを手にし、「子どもたちに関心をもってもらい、うれしい。期待に応えられるように、人工養殖の実用化に向けてがんばりたい」と話しています。

加計学園・岡山市中央卸売市場包括連携協定で催し

加計学園は2月に岡山市中央卸売市場と包括連携協定を結びましたが、連携事業を告知する催しを4月21、22日に岡山市役所で行いました。好適環境水を使った海水魚と淡水魚の混泳展示や、好適環境水で育った理大ウナギのうな井提供などがあり、訪れた市民のみなさんに好評でした。

市民ホールでは、混泳展示やパネル展示があり、親子連れらが興味深そうに水槽をながめていました。淡水に入って弱ったタイが、好適環境水で「復活」する実験では幼児らが驚き、「すごい」と歓声を上げていました。地下食堂で、両日とも30食限定で販売されたうな井には、行列ができ整理券が配られるほどの人気ぶり。「脂ののって、おいしい」とみなさん喜んで食べていました。

好適環境水での混泳好評 岡山市役所で展示



好評だった海水魚と淡水魚の混泳実験



UNIQUE!
20 years

KURASHIKI UNIVERSITY OF SCIENCE AND THE ARTS

創立20周年記念ロゴ

倉敷芸術科学大学

「ユニーク」の思い込め
20周年記念ロゴを作成

平成27年に創立20周年を迎えるにあたり、20周年記念ロゴを作成しました。ロゴは、「学生一人一人のための大学」「学生に楽しい大学」「学生に気持ちのいい環境」というコンセプトを「UNIQUE! 20years」という一言で表し、これまでの20年間ずっとユニークな大学だったという思いと、これからもずっとユニークであり続けるという思いを込めています。また、ロゴデザインに合わせてポスターも作成しました。「アートの実、サイエンスの空、明日への丘。」というキャッチフレーズが映える内容です。

学生にとっての真の楽しさを提供できるよう、本学は今後も邁進していきます。

御影インターナショナルこども園 「よく見て、聴いて、考えて」30人の園児迎え初の入園式

今年4月開園の本園で4月6日、初めての入園式を行いました。0歳児から3歳児まで、あわせて30人の入園児を迎え、園舎には元気な声が響きました。

中西元子園長が園児たちに「こども園では楽しいことがたくさんあります。よく見て、よく聴いて、よく考えて、しっかりお話ができるようにがんばりましょう」と伝えました。保護者には「新しい園がスタートしたばかりですので、足りないところが多いと思います。手を取り合っていきましょう」とあいさつしました。

入園式の最後には園児と保護者が一緒に手遊びを楽しみました。手遊びが始まると、泣いていた園児も泣きやんで、楽しそうな笑顔を見せていました。スタートしたばかりの新しい園です。職員一同協力してより良い園にしていきたいと思っています。



御影インターナショナルこども園

玉野総合医療専門学校 「学びの環境に感謝」入学宣誓式で新たな一歩



入学宣誓式会場でVサインの新生入生

穏やかな春の日差しに迎えられ平成26年度入学宣誓式が4月4日に執り行われました。保健看護学科17期生、介護福祉学科17期生、理学療法学科14期生、作業療法学科14期生が新たに玉野総合医療専門学校生として誕生しました。

式典では高井校長が「みなさんは保健・医療・福祉専門職者になり、障害で困っている人や病気で悩んでいる人のために役に立ちたいという大きな夢を抱いてきました。夢を実現するために必要なこと、大切なことは、決めた目標に向かって一生懸命努力・チャレンジすることです。その先にみなさんがめざす夢が必ず見えてくるはずですよ」と激励。

新入生代表の作業療法学科・木村千鶴さんは「これから先、医療・福祉分野の第一線に立つという夢への道を歩いていく上で、壁に直面することもあると思いますが、学びの環境に感謝して、出会った仲間を大切に乗り越えていきます」と力強く誓いの言葉を宣誓。保健・医療・福祉のエキスパートをめざして新たな一歩を踏み出しました。

岡山理科大学附属高等学校 「サポートします、頑張ってください」新生生の対面式で激励

新入生の登校初日の4月10日、2・3年生との対面式が行われ、代表者による挨拶が交わされました。まず、宮垣嘉也校長から「こうして同じ学び舎で学ぶようになったこともひとつ縁です。この「縁」を大切に、仲良く高校生活を送って下さい」との挨拶がありました。

続いて、在校生を代表して生徒会長の田中匡さん（進学理大コース3年）が、「高校生活がよりよいものになるように、サポートしていきます。挨拶を頑張ってください」と呼びかけました。それに対して「分からないことばかりですが、よろしく願います」と新入生代表の清水良弥さん（特別進学コース1年）が応え、2人は固い握手を交わしました。

午後には、新入生オリエンテーションが行われました。学校生活についての細かい説明のあとは部活動紹介。軽音楽部や応援団部などがユニフォーム姿で登場し、さまざまなパフォーマンスで入部の呼びかけを行っていました。



がっちり握手を交わす代表者の2人

岡山理科大学附属高等学校 通信制課程 「目的達成します」堂々と決意 本年度1期入学式

附属高校通信制課程の本年度1期の入学式が4月13日、理大ホールで行われました。昨年、他の高校に入学したもののほとんど通えなかったという生徒や、中学校からの新入生が心機一転の気持ちできちんと揃いました。式辞で「死ぬまで減りも無くなりもせず光輝く知識をこの通信制課程で修得しようと決めたことを大変喜ばしいことだ」と話す宮垣嘉也校長に、新入生代表として村岡海聖君が「試練をみんなで乗り越え、卒業という目的を達成します」と堂々と述べ、45人の新入生が気を引き締めました。

年3回の新編入学が可能な通信制課程は、9月、1月と今後も入学が可能。転入学については随時可能です。



千葉科学大学

「実りのある4年間に」
池邊学部長が激励
看護学部第1期生
新入生オリエンテーション
に参加



オリエンテーションに参加する新入生たち

新入生オリエンテーションが4月3日開催され、今年度から開設された看護学部1期生97人も参加しました。オリエンテーションは完成したばかりの看護学部棟2Fの約300人収容可能の大講義室で行われ、冒頭には、池邊学部長より「将来、看護専門職として国民の健康な生活を支える立場になることを自覚してください。創造力を働かせ、好奇心旺盛に貪欲に知識を吸収し、友人づくりにも励み、実りのある4年間にしてほしい」と歓迎の言葉が贈られました。

英数学館小・中・高等学校

広島テレビ「ぐるぐるスクール」に紹介されました！
子どもたちの元気よさ、楽しさを引き出すきっかけに

「ぐるぐるスクール」は、お笑い芸人・トータルテンボスが広島県内の高校を訪問し、各校の特色を紹介する笑いと感動の学校青春バラエティー番組です。本校にもトータルテンボスが来校し、2月17日(月)に丸一日かけて撮影が行われ、3月16日(日)と3月23日(日)の2回に分けて放送されました。

撮影は、小学校イマージョンクラスの授業体験・英語九九対決、小学生のお弁当事情や中学生に人気の移動販売のパンの調査、高校生による学校自慢や一発芸披露、中3の後輩からお世話になった高3の先輩への感謝のメッセージ、日本語禁止のGlobal Villageでの中1生徒たちとの談笑、技術部生徒たちとのロボット対決、中学校硬式野球部エースとの一本勝負…と企画盛りだくさんで、トータルテンボスのお二人が笑いを織り交ぜながら本校の魅力を紹介してくれました。児童・生徒たちも大喜びで、学校での「Live」な(生き生きとした)様子、元気よさ、楽しさが上手く引き出された様子で何よりでした。



高校2年生はフリップで学校自慢



小学2年イマージョンクラス、mathの授業に参加するトータルテンボス

岡山理科大学附属中学校

生きた英語学び、自然を満喫 オーストラリアで研修



オーストラリアのインターナショナルハイスクールで学ぶ生徒たち

本校第3学年は、3月19日に無事、義務教育修了式を終え、翌20日より28日にかけて、オーストラリア連邦南オーストラリア州アデレード市にあるバンクシアパーク・インターナショナルハイスクールへ短期語学留学をしました。

通算11回目となるこの海外研修は、ホームステイと学校訪問を通じて、生きた英語を学ぶとともに、国内とはスケールが違う牧場1つを借り切ったキャンプ場でオーストラリアの雄大な自然を体感し、大きな感動体験を得ました。

ホストファミリーや現地の仲間との交流では、最初はなかなか口に出せなかった英語が通じコミュニケーションが成立したことに大きな喜びを感じるとともに、今後の英語学習への大きな励みとなりました。最後に、この研修中に誕生日を迎えた人がいました。キャンプの日、サプライズで誕生日パーティーを行い、ホストファミリーと生徒から心あたたまるプレゼントが手渡されました。この人はもちろん周囲の人々にとっても生涯忘れられぬ思い出となったはずです。

千葉科学大学

学生が自由にディスカッション
「ラーニング・コモンズ」で控室整備

本年度からスタートのラーニング・コモンズの間として、学生控室が整備されました。ラーニング・コモンズとは、学生が自由にディスカッションや会話をしながら学習する場のこと。新たに設置した机椅子は、利用に応じて配置を変えて使うことができ、少人数でのミーティング、ディスカッションから二、三十名のグループワークまでさまざまな利用が可能です。また、設備には電子黒板のBIGPADが3台設置しており、iPadやタブレット端末を持参しタッチディスプレイリンクを使った会議で資料の共有、BIGPADへの画像データの送受信が可能。さらに、USBメモリーに準備したPowerPointなどのプレゼンデータを使うこともでき、タッチディスプレイを使ったプレゼンテーションも可能です。

従来のゼミ室のような閉じた学習の場に加え、開かれた様々な目的の学生が同じ場所で共有して利用することが出来る新しい学習の場を学生自らがアイデアを出して利用することが期待されます。



ラーニング・コモンズの間として、整備された学生控室

吉備高原学園高等学校

吉備中央町のお祭りで演奏や踊り、棒術を披露



棒術の演武を披露する古武道部員

4月20日の日曜日、吉備中央町長の挨拶で始まった「第23回吉備高原さんさん祭り」の会場で、本校の音楽部員が演奏、有志生徒がダンス、古武道部員が棒術の演武を町民の皆さんに披露しました。中でも、古武道部の棒術は珍しく、関心を集めていました。生徒の演武は地元岡山に伝わる竹内流の棒術で、その内容は表型(基本型)と裏型(表の技を簡略化した応用技)でした。

生徒の気合いのこもった「や、ホ、エイ」の掛け声と、技を繰り出す際にお互いの六尺棒があたる「カーン」という音は会場内に大きく響き渡り、演武終了後は大きな拍手が生徒たちに送られていました。

この他、本校の専門コースであるクラフトデザインコースに所属する生徒も子供向けに「凧づくり」のワークショップを開いており、こちらも多くの小学生らが参加していました。

吉備高原学園高等学校の生徒たちは、毎年「吉備高原さんさん祭り」を通じて町民の方々と交流をしています。

岡山理科大学

2014年度入試を振り返って 総志願者数 5年連続の増加

岡山理科大学の2014年度学部入試の総志願者数は6035名と昨年から281名の増加となりました。これで2009年度の3969名から5年連続の増加となります。

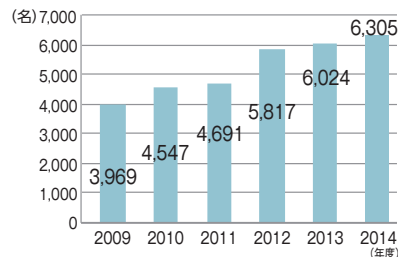
相変わらず、志願者の岡山県内比率は22.3%と西日本を中心に広域からの受験となりました。またAO、推薦入試といった年内入試の比率も16%と、一般入試・センター利用入試中心の受験となっています。

今回は、センター入試の平均点が上昇することでセンター利用入試利用者の上昇がみられました。それでも一般入試がボリュームゾーンとなっているのは、200名規模の入試特待生制度や複数出願時の入学検定料割引制度が影響していると考えます。

新課程移行前の入試ということもあり、堅実な入試となりました。

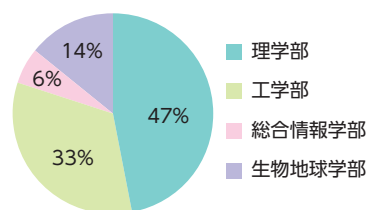
定員1300名に対して1531名の学部新入生を迎えることができました。学生たちに本学をしっかりと活用してもらい、夢がかなうことを期待したいと思います。

■ 志願倍率4.9倍。5年連続増加をたどる志願者



■ 約半数が理学部。

学部別志願者割合



岡山理科大学専門学校

2年8カ月 無換水記録を更新中 5.5トン水槽で自然の海を再現

本校アクアリウム学科で管理している学内の5.5トン水槽の中には、珊瑚や魚たちを飼育し、完全な海の中と同じものを再現しています。その水槽の中の水は、2011年9月3日から今年5月20日現在までの約2年8カ月の間、水を換えずにきれいな海の状態を作り続けて記録を更新中です。これからも、更新できるように管理していきます。

この水槽は、人工の太陽光を発生させ、海ブドウや、砂、ウミウシなどいろんなもので、自然の海が再現されています。



長期間無換水記録を更新中の水槽

研修会

創立の概要や社会人の心構え学ぶ 平成26年度加計学園新採用研修会

加計学園新採用の教育職員、事務職員を対象に4月1、2の両日、研修会が行われました。1日は新採用の63人が出席し、建学の理念唱和の後、赤木靖春専務理事から創立の概要と学園の教育組織、渡邊良人法人本部事務局長から私学の動向と学園の事務組織についての話をお聞きしました。井内龍男局長次長から財務・会計、丹原愛子局長次長から私立学校の勤務についての説明がありました。各設置校別で研修が行われた後、職員たちは辞令交付式に出席、緊張の面持ちで辞令を受け取りました。



渡邊局長の講話を聴く新採用の事務職員

翌2日、新採用職員のうち、事務職員8人を対象に研修会が行われました。渡邊局長が、本学園の現状や「加計学園フィロソフィ 道しるべ」に掲載されている「もうダメだというときが仕事の始まり」について自身の経験談を交えながら講話。その後、外部講師を招き「社会人スイッチをONにする」をテーマに研修があり、社会人としての心構えやビジネスマナーをはじめ、名刺の渡し方、電話対応など事務職員としての基本を学びました。

25年度加計教育振興会会長賞決まる

平成25年度の加計教育振興会会長賞の選考会が1月7日、岡山理科大学で開かれ、次の人たちが会長賞に選ばれました。(敬称略)

同会長賞は、加計学園・英数学館の専門学校を卒業の優秀者を表彰するものです。

【福山福祉専門学校】

介護福祉学科 山村 康嗣

【玉野総合医療専門学校】

保健看護学科 玉串 千晴
作業療法学科 武 美都恵

【岡山理科大学専門学校】

建築学科昼間部 前嶋 梨佐
ドッグトレーニング学科 射場 洋介

【広島アニマルケア専門学校】

動物管理学科
(動物看護コース3年課程) 井貝 優花



学校法人加計学園

〒700-0005 岡山市北区理大町1-1
TEL.086-256-8403 <http://www.kake.ac.jp/>

岡山理科大学

〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1
(URL) <http://www.ous.ac.jp/>

倉敷芸術科学大学

〒712-8505 岡山県倉敷市連島町西之浦2640
(URL) <http://www.kusa.ac.jp/>

千葉科学大学

〒288-0025 千葉県銚子市潮見町3
(URL) <http://www.cis.ac.jp/>

岡山理科大学専門学校

〒700-0003 岡山県岡山市北区半田町8-3
(URL) <http://www.risen.ac.jp/>

玉野総合医療専門学校

〒706-0002 岡山県玉野市築港1-1-20
(URL) <http://www.tamasen.ac.jp/>

岡山理科大学附属高等学校

〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1
(URL) <http://www.ridaifu.net/>

岡山理科大学附属中学校

〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1
(URL) <http://www.kake.ac.jp/~info-j/>

御影インターナショナルこども園

〒658-0047 兵庫県神戸市東灘区御影2-15-27
(URL) <http://www.kake.ac.jp/mik/>

英数学館小・中・高等学校

〒721-8502 広島県福山市引野町980-1
(URL) <http://www.eisu-ejs.ac.jp/>

吉備高原学園高等学校

〒709-2393 岡山県加賀郡吉備中央町上野2400
(URL) <http://www.kibikogengakuen.ed.jp/>